

江戸三味線音楽の変遷

江戸の社会が50年ほどで変化している状況と音楽を重ねた新しい江戸三味線音楽史の第二シーズンは、百花繚乱の音楽が生まれた時代を2回にわけてご紹介します。

第三回 邦楽百花繚乱 その二

平成二十八年

一月二十五日(月)

午後六時三十分開演 (六時開場)

宝暦元年(一七五二)から寛政十二年(一八〇〇)まで

この50年間に、各種の三味線音楽が発展し、名作が生まれます。河東節では上調子が発達し、長唄が盛んになり、常磐津も流行します。新内も盛り上がりを見せて、音楽の花が咲き出します。

お話し

竹内道敬

河東節

「助六由縁江戸桜」
(一七六一)

河東節十寸見会女流連中

新内

「明烏夢泡雪」
(一七七二)

浄瑠璃 新内剛士
三味線 新内仲三郎
上調子 新内勝志壽

長唄

「隈取安宅松」
(一七六九)

唄 杵屋巳津也、杵屋巳之助、
今藤龍之右、杵屋長寿郎
三味線 杵屋巳太郎、今藤政十郎、柏要二郎
上調子 杵屋六治郎
囃子 望月晴美、堅田喜三代、梅屋右妃、
梅屋巴／鳳聲千晴

チケット

- 2公演セット券 7,000円
(第三回1月25日 & 第四回2月27日)
10月29日(木)発売
〔友の会優先 10月27日(火)〕
 - 単券 4,000円 (学生優待: 2,000円)
11月12日(木)発売
〔友の会優先 11月10日(火)〕
- ご予約は 紀尾井ホールチケットセンター
☎ 03-3237-0061 (10時~18時、日・祝日休)

※演奏中のご入場はご遠慮いただいております。
また、出演者等が変更になる場合がありますので、あらかじめご了承ください。
※未就学児のご入場はご遠慮ください。

主催
公益財団法人
新日鉄住金文化財団

